

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第5部門第2区分
【発行日】平成29年8月3日(2017.8.3)

【公開番号】特開2016-31107(P2016-31107A)
【公開日】平成28年3月7日(2016.3.7)
【年通号数】公開・登録公報2016-014
【出願番号】特願2014-153564(P2014-153564)
【国際特許分類】

F 1 6 D 35/02 (2006.01)

【F I】

F 1 6 D 35/00 6 1 1 R

【手続補正書】

【提出日】平成29年6月21日(2017.6.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

駆動ディスクを固着した回転軸体上に、軸受を介して支承された非磁性体のケースと該ケースに取着されたカバーとからなる密封器匣の内部が、油の供給調整孔を有する仕切板により油溜り室と駆動ディスクを内装するトルク伝達室とに区劃され、回転時の油の集溜する駆動ディスクの外周壁部に対向する密封器匣側の内周壁面の一部にダムと、これに連なってトルク伝達室より油溜り室間に油循環流通路を備えると共に、外部周囲の温度が設定値を超えると前記仕切板の供給調整孔を開放し、設定値以下では前記仕切板の供給調整孔を閉鎖する油供給用弁部材を前記カバーの前面に設けた感温体の温度変化に伴う変形に連動するように内部に備え、駆動ディスクと前記密封器匣の外方付近の対向壁面に設けたトルク伝達間隙部での油の有効接触面積を増減させて、駆動側の回転体から被駆動側の密封器匣側への回転トルク伝達を制御するようにしてなる温度感応型流体式ファン・クラッチ装置において、前記ダムと油循環流通路をそれぞれ2つ以上設けると共に、前記2つ以上の油循環流通路の少なくとも一つを開閉する油回収用弁部材を油溜り室内に配置するとともに、該油回収用弁部材を前記油供給用弁部材と共通の感温体の温度変化に伴う変形に連動して前記油供給用弁部材とは別々に作動するごとく設けたことを特徴とする温度感応型流体式ファン・クラッチ装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明に係る温度感応型流体式ファン・クラッチ装置は、駆動ディスクを固着した回転軸体上に、軸受を介して支承された非磁性体のケースと該ケースに取着されたカバーとからなる密封器匣の内部が、油の供給調整孔を有する仕切板により油溜り室と駆動ディスクを内装するトルク伝達室とに区劃され、回転時の油の集溜する駆動ディスクの外周壁部に対向する密封器匣側の内周壁面の一部にダムと、これに連なってトルク伝達室より油溜り室間に油循環流通路を備えると共に、外部周囲の温度が設定値を超えると前記仕切板の供給調整孔を開放し、設定値以下では前記仕切板の供給調整孔を閉鎖する油供給用弁部材を

前記カバーの前面に設けた感温体の温度変化に伴う変形に連動するように内部に備え、駆動ディスクと前記密封器匣の外方付近の対向壁面に設けたトルク伝達間隙部での油の有効接触面積を増減させて、駆動側の回転体から被駆動側の密封器匣側への回転トルク伝達を制御するようにしてなる温度感応型流体式ファン・クラッチ装置において、前記ダムと油循環流通路をそれぞれ2つ以上設けると共に、前記2つ以上の油循環流通路の少なくとも一つを開閉する油回収用弁部材を油溜り室内に配置するとともに、該油回収用弁部材を前記油供給用弁部材と共通の感温体の温度変化に伴う変形に連動して前記油供給用弁部材とは別々に作動するごとく設けたことを特徴とするものである。